



岩国医療センターだより

2025年5・6月号 VOL.159

ご自由にお持ちください。



岩国看護学校卒業式

もくじ

② 院長 新年度のご挨拶
就任・新任のご挨拶

④ 【看護部だより】『手術室』のご紹介

⑤ 【緩和ケアだより】がんところのケア

⑥ 【旅行記】
秋の東北 3,434km 車旅～後編～

⑦ インフォメーション
第5回 認定看護師の紹介
看護学校 オープンスクール開催予告 他

独立行政法人国立病院機構
岩国医療センター
発行・制作：広報委員会

〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1丁目1番1号
TEL 0827-34-1000 / FAX 0827-35-5600

岩国医療センター 検索 <https://iwakuni.hosp.go.jp>

院長 新年度のご挨拶



院長 田中屋 宏爾

新しい年度を迎え、一言ご挨拶申し上げます。長年親しんできた黒磯の地を離れ、エントランスを飾る錦帯橋をモチーフとしたステンドグラスが迎えてくれる愛宕山の新病院に移転して早いもので12年が経ちました。まず初めに、地域住民の皆様、医療機関や行政機関など、当院を支えてくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着いてきましたが、少子高齢化、物価高、人材不足が日本の経済や市民生活に深刻な影響を与えています。医療・福祉制度を取り巻く環境も厳しさを増し、医療費削減や高額療養費制度の見直しなどが進んでいる状況です。このような中で、当院はこれまで以上に経営の健全化に努め、質の高い医療の提供を推進しております。

当院の主な使命は、救命救急センターを備えた医療機関として山口県東部の医療圏における高度急性期医

療を担うこと、また、地域周産期母子医療センターとして市民の皆様が安心して出産や子育てを行える環境を守ることです。さらに、岩国市の3分の2を占めるへき地における医療を、地域の医療機関と連携しながら提供していくことも重要な役割です。加えて、安全で体に優しい医療の実現に重きを置き、直近1年間で新たに放射線をピンポイントで照射できる治療装置、3D画像解析システム、不整脈の安全な治療装置（パルスフィールドアブレーション）を導入し、ロボット支援手術機器も最新型に刷新しました。

患者さん中心の医療を目指し、「地域の皆様から愛され、信頼される病院」という理念を掲げ、職員一同、魅力的な街づくりに貢献できるよう努めてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副院長 就任のご挨拶

藤本 剛

4月1日から副院長（運営担当）を拝命しました藤本剛と申します。2008年4月から当院に勤務させていただき、早いもので16年が経過しました。この間病院移転があり、コロナ禍も経験し、昨年度には病院機能評価を受審、激動の時代を病院とともに歩んで参りました。専門は消化器内科で主に大腸内視鏡診療や大腸癌の化学療法、炎症性腸疾患を担当しています。その他、初期研修医の採用や教育研修に関するお仕事もさせていただき、輩出した初期研修医は100名を越え、常に若い医師たちから刺激を受け新たな発見がある日々です。

これからは日常診療や教育研修業務に加え、院長を支え微力ながら病院発展のために努力していく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

副院長 就任のご挨拶

荻原 浩太郎

2025年4月より副院長を拝命いたしました荻原浩太郎（おぎはらこうたろう）と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。出身は岡山ですが2001年に当院へ脳神経外科医として入職し、今では岩国が最も長い時間を過ごした地となりました。

5年前から医師の働き方改革に携わってきました。医師が高度で専門的な医療を提供できるようになるためには日々研鑽を積む必要があります。また標準的な治療を継続して提供できる組織を作るためには人材の確保と育成が重要です。そのいずれも多く時間を要する作業ですが、昨年4月より医師の働き方改革の新制度が施行されました。それらは一見相反することのように思えますが、医師不足・医師偏在の問題を抱えた医療の現場において、医師の働き方改革は将来に渡って安心安全な医療を提供し続けるための準備の1つであるとも言えます。

地域唯一の急性期病院としての役割を今後も果たせるように尽力していく所存ですので、引き続き岩国医療センターを何卒宜しくお願い申し上げます。

統括診療部長 片山 祐介

このたび、岩国医療センターの統括診療部長を拝命いたしました片山祐介と申します。2005年9月に岩国赴任から約20年となります。循環器内科医師として心血管疾患の患者様の診療に携わり、科長となった後は、循環器内科を代表して院内各科、各職種と連携をとり、また、他の医療機関や岩国市民の皆様とも繋がりを持つことができるように努めてきました。

今後は、当院スタッフ一同と力を合わせ、患者様にとって最良の医療を提供できるよう、地域医療の発展に寄与できるよう努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

看護学校教育主事 松下 裕子

4月1日付で看護学校教育主事として着任いたしました松下裕子と申します。私は愛媛県出身で看護師として四国がんセンターで勤務した後、教員として愛媛、高知の看護学校で長年勤務しました。前任の愛媛医療センター附属看護学校では、教育主事として「閉校」という歴史の重さと寂しさの中で、学生と共に貴重な時間を過ごしました。

山口県はもちろん中国地区での勤務は初めてです。岩国に来てまだ数日ですが人の温かさを感じ、母体病院をはじめ看護学校の学習環境はとても恵まれていると感じています。

学生の良さに気づき、成長を支援できるよう努めていきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副看護部長 別所 悦子

4月1日付で独立行政法人国立病院機構岩国医療センターの副看護部長に着任いたしました別所悦子と申します。前職は、国立療養所邑久光明園で副総看護師長をしておりました。

邑久光明園では、入所者の皆様がその人らしく生活していくための支援と安心して療養できる環境を整えることを看護課として取り組んでおりました。高度急性期医療を担う岩国医療センターでは、患者、家族の皆様が安全で快適な医療・看護が提供できるよう取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

看護学校副学校長 谷口 秀美

初めまして。

岩国医療センター附属岩国看護学校に4月に着任いたしました。近畿地方からの転勤のため、山口県での勤務は初めてのため、まずは岩国市のことを知ってこうと思っております。そして、地域に愛される看護学校として、地域医療に貢献できる看護師を育成していきたいと考えております。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

企画課長 水尻 和夫

この度、4月1日付で企画課長として着任いたしました水尻と申します。岩国医療センターでの勤務は初めて、岩国の地での生活も初めて、さらに人生初の単身赴任ということで初めてづくしの新生活を開始しております。

私は事務方ですので、やはり健全経営ができないと、病院としての将来ビジョンや設備機器整備等の実現は困難となり、職員のモチベーションも維持できず、結果的に地域医療に貢献できないという悪循環に陥ると考えています。昨年度の診療報酬改定では、元来、地域医療を支え続けてきた総合病院に非常に厳しい改定となっており、当院も困難な病院経営を強いられる中、健全経営を実現し地域医療に貢献していくには、内外問わずステークホルダーとなる方々との良好な関係の維持・構築が必要であり、企画課長として、微力ながら努力して参る所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

経営企画室長 大川 鉄雄

このたび、4月1日付人事異動により呉医療センターから参りました経営企画室長の大川と申します。岩国医療センターでの勤務は12年ぶり2度目となります。1度目の勤務の大半は黒磯町の旧病院で、愛宕町の病院にはわずか5日間しかおりませんでしたので、現在の病院で勤務できることを非常に楽しみにしています。

さて、経営企画室は、経営に関するデータの収集・分析を行い、病院の経営判断や意思決定のもととなる資料の作成、企画立案を主に行う部署です。1日も早く仕事に慣れ、岩国医療センターの一員として頑張りたいと思っておりますので、ご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



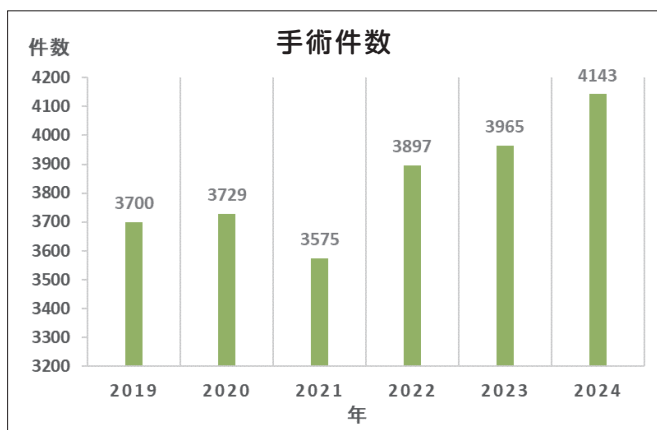
「手術室」のご紹介

手術室看護師長
三浦 京子



岩国医療センター手術室では、外科、心臓血管外科、脳神経外科、胸部外科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産科、婦人科、形成外科、眼科、皮膚科の手術を行っています。

2024年は4,143件行い、なかでも外科と整形外科の手術件数が増加しています。4,143件の手術の内、約4割の1,600件が予定外手術となっています。たくさんの緊急手術に対応し、3次救急医療機関としての地域での役割を担っています。手術室の看護師は患者さんが安心して安全な手術を受けていただけるように、手術看護を実践しています。



1. 術前看護

当院では手術室看護師が手術を受ける患者さんの病室に伺い、手術の流れの説明や、手術に対する不安や心配に対する心理的支援を行っています。

2. 術中看護

手術は外回り看護師と器械出し看護師の2名がいます。外回り看護師の役割は患者さんの安全と安楽を確保することです。麻酔前の緊張した患者さんの不安を和らげることができるように声掛けを行っています。

麻酔導入後は手術の体位をとります。患者さんが手術中に皮膚障害や神経障害をおこさないように圧迫予防の目的でアルビンライフ®(皮膚保護パット材)やソフトナース®(体圧分散ウレタンフォーム)を使用して手術の体位をとっています。患者さんが目を覚ました時に体位による体の痛みを感じることがないように、無理のない体位を取りつつ、手術が安全に行えるようにしています。



手術終了後は、WHOの手術安全チェックリストを使用して体内に手術で使用した器械やガーゼなどが残っていないかを医師と共に確認しています。

器械出し看護師の役割は、手術が安全で円滑に進行するように、手術操作に合わせて必要な手術器械、手術材料を迅速に手渡しして介助することです。器械出し看護師は手術に使用する器械、材料の滅菌期限、汚染、破損がないことを確認し、安全に手術が行えるように準備をしています。手術が始まれば、術野から目を離さず、手術の進行状況を把握し、状態変化に対応できるようにしています。



3. 術後訪問

手術日の翌日以降に手術室看護師が手術をされた患者さんの病室に伺い、手術後の経過や手術中の看護の評価をいただいています。

本年度、手術室では進歩する手術に対応するため、年間10回勉強会の開催や産科手術の看護研究に取り組みました。日本手術看護学会に2名参加し、最新の知見を得て患者さんやご家族が安心して安全な手術が受けられるように研鑽に努めています。

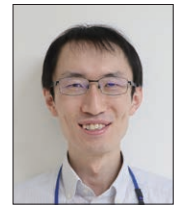
これからも地域の皆様から信頼されるように努力してまいります。





がんとこころのケア

心理療法士
芥川 亘



がんとストレス

がん患者さんは病気になったことで、診断時だけではなく、治療過程の各段階においても多くのストレスにさらされると言われています。患者として身体や治療の心配をするだけではなく、仕事や家庭等の生活に関する様々な悩みを抱えることになるかもしれません。

そこで、ストレスと上手に付き合い、適切に対処していくためのストレスマネジメントが重要になります。

ストレスマネジメント

心をより健康的な状態に保つために、自分のストレスに目を向けることは大切なことです。どんな時にストレスを感じやすいか、どんなことをストレスに感じるか、ストレスを感じた時にはどんな反応が生じるか等、自分とストレスの関係を知ることが第一歩です。そのうえで、ストレスへの対処法を身につけましょう。対処法に絶対的なものはありませんが、自分なりの方法をいくつか持っておくと良いかもしれません。



例えば、身体を動かすことでストレスが軽減できる人もいれば、本を読んだり、音楽を聴いたりすることが良い人もいると思います。また、対処は自分1人だけで頑張ることはありません。家族、友人、

医療者など、周囲に助けを求めることも立派な対処法の1つです。しんどい時ほど視野が狭く、周囲が見えにくくなりますが、周りにも目を向けてみましょう。

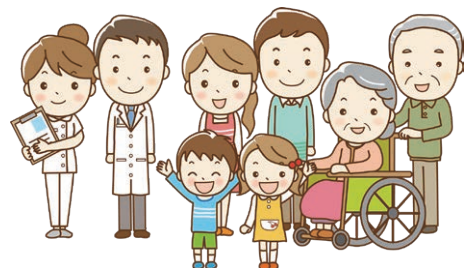


家族のこころのケア

家族の誰かが病気になることで、家族みんなが病気と向き合うことにもなります。その中で、家族も様々な悩みを抱えることになるかもしれません。お互いに心配事や不安を理解し合うことでストレスが和らぐと言われていますが、うまく理解してもらえないことや、考えすぎてギクシャクしてしまうことでお互いにストレスになってしまうこともあります。

物事の捉え方や考え方、対処法は人それぞれです。コミュニケーションがうまくいかない時には、まずは相手が何を思っているのか、どう考えているのか、メッセージを聴くことを意識してみましょう。そのうえで、自分の素直な気持ちを伝えるのも良いかもしれません。少し時間が必要なことがあるかもしれませんが、待つことも大切です。

もし、気分が晴れない、食欲がない、眠れないといった症状が長く続き、日常生活に支障が出るようであれば、医療機関に相談してください。



『ほっとサロン虹』のご案内

がん患者さんやご家族の皆様が病気や暮らしなど気になること、相談したいことなど、お話ができる場です。事前申込み不要ですので、お気軽にご参加ください。(地域医療連携室)

開催日	テーマ	講師
5月16日	人生会議をしてみよう	心理療法士
6月20日	医師とのコミュニケーション	がん看護専門看護師

開催日時：毎月第3金曜日(8月を除く)
14:00～15:00

場所：2階患者図書室

対象：がん患者さんにご家族
(院外の方も参加できます)





乳頭温泉行ったぞぉ～！ バスセンターのカレーもあるよ //

安光 正治

2024年9・10月号にて、岩国から東北を車で巡る「秋の東北車旅～前編～」を掲載。今回はその後編です。



八甲田山へなかなか行けなかったのは、その距離もさることながら酸ヶ湯温泉旅館がとれなかったことが大きい。今回、トイレ無の部屋だったがたまたま空をみつけ即予約。ここから前後の旅を組み立てた。その後トイレ付きの部屋が1日あとに出てきたので他の予約を含め変更したが結果としてこれがよかった。ロープウェイが前日、前々日の二日間、強風で運休していたのだ。危なかった。日頃の行いかなw。

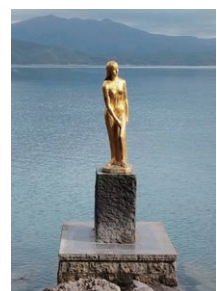
実は未だ宿泊したことのない県が残り7県で、うち東北には岩手、秋田、福島、宮城、山形、青森の6県あり、未宿泊県解消も隠れた目的なので宿泊地選択は重要ポイントだった。



②

一度は泊まってみたくて思っていた温泉の一つに秋田の乳頭温泉がある。ここもなかなか空が出ないところで、(新)玉川温泉、後生掛温泉等を予約していた時もあったが、出発の1週間頃、乳頭温泉の鶴の湯①、それもトイレ付の部屋が出て来たのでこちらでも即予約。この時点でやっと旅程の骨格が確定した。

③



⑤

鶴の湯の有名な露天風呂は混浴で、底からも温泉が湧いてくる。

他にも源泉の異なる温泉があり、貸し切り②(空いていればいつでも入浴可)

もあり、あまり風呂好きではない私でも全温泉を制覇してしまった。食事は豪華食材ではないのだが、その分ボリュームもあり、ここでも満腹③夕食④朝食。隣の中国人夫婦はかなり残していたな。

⑥



④



翌朝、田沢湖畔を巡り、たつ子像⑤をみて秋田県を南下。道の駅象潟ねむの丘で昼食⑥をとり鳥海山ブルーラインへ向かったが残念ながら鳥海山鉾立展望台は雲の中で何も見えなかった。鶴岡の湯野浜温泉の宿の食事⑦も、これまたまいうー。また食べ過ぎてしまう。これでは帰るだけなのだが、まだ食べ歩き予定がある。



⑦



⑩

最後の宿は未宿泊県でもある福井県の芦原温泉。何時に到着できるかわからないので夕食なしのプランで、途中雨の中、富山の一見回る寿司屋に入ったらこれがまた美味しいのなんのって⑩。やはり北陸はいいな。

次なる目的地は新潟市の万代シティバスセンター⑧。何年も前から食べてみたいと思っている知人ぞ知る「バスセンターのカレー⑨」が目的だ。食の細い人はミニを注文のこと。写真は太盛ではなく普通なのでご注意を。

⑨

⑧



⑪



さて最終日だが、まだ福井県の北にいるw。越前海岸沿いを走り、道の駅越前に立ち寄りのどぐろの乾物などを購入。北陸新幹線延伸開業間近の敦賀駅横を通り、次は三方五湖、ドライブインよしだの予定だったがどしゃぶりで、今回の計画で唯一ここだけとりやめた。代わりに巨人の大勢選手の故郷の道の駅に寄り、最後の目的地、備前市のドライブイン大阪屋で夕食。ここはドジャースへ行った山本由伸選手が若い頃行きつけの店。ホルモン担々麺美味かった⑪。

国道2号を下り福山西から山陽道へ。ほぼ予定通り22時前頃帰宅。7泊8日総走行距離3,434kmの車旅が無事終わった。ちなみに運転手は私一人である^^;



医師の異動

(順不同)

～ 2025 年 4 月 1 日付 新任～

外科医師	大倉 友博	小児科医師	藤本 洋輔	形成外科レジデント	保崎 泰人
外科医師	堀 直人	小児科医師	井ノ原 万裕	呼吸器内科レジデント	大後戸 智也
外科医師	益永 あかり	呼吸器内科レジデント	緒方 裕理	脳神経外科レジデント	小谷 勇人
循環器内科医師	高原 津	循環器内科レジデント	ベリー 万知	泌尿器科レジデント	東端 政樹
消化器内科医師	原田 圭	循環器内科レジデント	湖山 恵多	外科レジデント	岡 詠吾
小児科医師	清水 雄一				

～ 2025 年 3 月 31 日付 退職・転出～

副院長	牧野 泰裕	泌尿器科医師	花本 昌紀	循環器内科医師	松尾 啓太
形成外科医師	西尾 俊彦	小児科医師	有吉 俊樹	外科レジデント	毛利 謙吾
脳神経外科医師	廣瀬 安章	外科医師	谷口 文崇	消化器内科レジデント	浜田 健太郎
消化器内科医師	上田 英次郎	外科医師	三宅 英輝	循環器内科レジデント	村田 憲郁

～ 2025 年 4 月 30 日付 退職・転出～

麻酔科医師 篠原 紫乃 小児科医師 椎名 豪

市民公開講座（当院研修センターにて開催）

呼吸器内科 2024 年度 第 2 回 市民公開講座

『こんなにも進歩している 肺癌化学療法』

2025 年 2 月 1 日（土）10 時 30 分より



はじめに、当院臨床研究部長 呼吸器内科久山彰一医師より座長挨拶がありました。

講座は、まず「分子標的薬について」…梅野貴裕医師より、次に「免疫チェックポイント阻害薬について」…田村朋季医師よりお話がありました。質問コーナーでは、熱心な参加者からの質問がありました。

今回の講座では 83 名の市民の皆さまが参加され、興味深く聞いておられました。



脳神経外科 2024 年度 第 3 回 市民公開講座

『新時代の脳卒中診療』

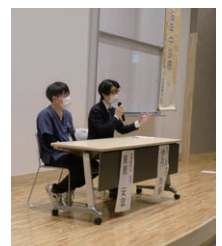


2025 年 3 月 1 日（土）10 時 30 分より

はじめに、当院脳神経外科 伊丹尚多医師より挨拶がありました。

講座の内容は「脳卒中のカテーテル治療を知る」…廣瀬安章医師、「スマホアプリを用いた脳卒中診療【時短】の取り組み」…伊丹医師のお話でした。質問コーナーではアプリについての質問もあり、市民の皆さんがアプリによる連携について興味を持っておられることがわかりました。

今回の講座では 93 名の市民の皆さまが参加され、熱心に聞いておられました。





第5回 認定看護師の紹介

今回は、認知症看護認定看護師を紹介します。

認定看護師になったきっかけ

年々入院患者の高齢化が進み、それに伴って認知症をもつ患者さんも多くなっています。認知機能の低下が起こっていても安心して療養できる環境を作りたいと考え、専門的な知識や技術を身につけたいと思い、認定看護師を目指しました。

認知症看護認定看護師

吉田 孝二

趣味は
推しキャラの
グッズ集め



最初は子供がハマっていたのですが、次第に家族全員の推しキャラになり今では妻と一緒に集めています。最近は似た色のものが目に入るとついつい目で追ってしまいます。



現在の仕事について

認知症看護認定看護師の主な仕事は、入院中の患者さんの認知機能の悪化を予防し、治療が安全に受けられるようサポートすることです。もともと

認知症がある患者さんだけでなく、入院を機に認知機能の低下が起こりそうな患者さんに対しても、入院生活を穏やかに過ごすことができるよう日中の生活や夜間の睡眠がしっかりとできるよう支援しています。



カンファレンスの様子

2025 オープンスクール開催

～生命尊重と人間愛を基盤に、実践力ある看護者を育成～



- ★附属学校の強み、病院による実習・学習支援
- ★3校をオンラインでつないだ専門家による授業
- ★学生用駐車場など生活環境の充実

開催日時

2025年7月12日(土)

第1部 9:30～11:30(受付 9:00～)

第2部 13:30～15:30(受付 13:00～)

2025年7月19日(土)

第3部 9:30～11:30(受付 9:00～)

第4部 13:30～15:30(受付 13:00～)



今月号表紙は、3月3日に行われた岩国医療センター附属岩国看護学校卒業式の様子です。

内容

模擬授業体験、学生による学校案内・交流コーナー・看護技術体験コーナー等

学校見学は、いつでも受け付けていますので下記までご連絡ください。

岩国医療センター附属岩国看護学校
〒740-0037 山口県岩国市愛宕町1-3-1
TEL: 0827-34-2000 FAX: 0827-35-5700

